



区議会第3回定例会・決算特別委員会での討論
区民には負担増・福祉切り捨て、大企業奉仕の決算に反対

区議会第3回定例会は、10月11日、区長提案の条例案、2018年度渋谷区一般会計、同国民健康保険事業会計、同介護保険事業会計、同後期高齢者医療事業会計の4会計決算、区民から提出された請願等を評決して、閉会しました。

学校給食の無償化や子ども医療費の高校生までの拡大、切り捨てた生活保護世帯の夏冬の見舞金や障がい者の福祉クシール券の復活など、切実な区民の声には背を向けてきました。

日本共産党区議団は、区民のくらしが大変な中で、負担増と福祉・くらしの切り捨てを強行し、大企業の儲け最優先に巨額の税金投入と区民の財産の提供を行った2018年度決算に反対するとともに、請願の採択に全力をあげました。(下表参照)

その結果、繰越額は105億4206万円、民生費だけで40億を超える不用額を出しており、この繰越を財源にして貯め込んだ基金は、現在約1009億円にも達します。区民には負担増と福祉の切り捨てを押し付け、区民の切実な願いには背を向けたこれらの決算は、到底認めることはできません。

私は、10日の決算特別委員会代表としてこれらの決算に対する反対討論を行いました。

自治体本来の役割を投げ出し、区民の願いに背を向け、大企業のもうけを最優先にしている決算は認められません。

私は、日本共産党渋谷区議団を代表して、ただいま議題となりました認定第1号・平成30年度渋谷区一般会計・認定第2号・同国民健康保険事業会計、認定第3号・同介護保険事業会計、認定第4号・同後期高齢者医療事業会計の各歳入歳出決算について、反対の立場から討論いたします。

また、区型介護サービスの削減や安い単価で介護事業所の収入を減らす緩和サービスAの大幅な拡大、かけがえのない自然体験の場で子

令和元年第3回区議会定例会最終本会議の表決結果(抜粋)

2019年10月11日

Table with columns: 議案, 概要, 可否, 会派名 (各会派人数), 共産党, 自民党, シブヤを笑顔, 公明党, 立憲民主, れいわ渋谷, 無所属, 無所属